

ZEB 普及への取り組み

国策として推し進められる「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」においては、「今後2050年カーボンニュートラルを目指すに当たっては、ZEBの普及を可能な限り進めていく。」との方針が公表されています。

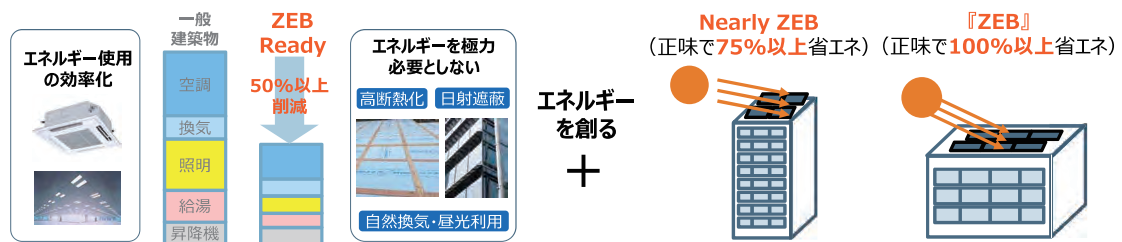
ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）とは、先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物のことです。

合田工務店は環境に対し、「地球環境の保全につとめ、環境に優しい活動」という基本理念のもと、一般社団法人 環境共創イニシアチブが公募する「ZEB プランナー」に登録を行い、ZEBの普及に取り組んでまいります。

自社設計の建築物については、外皮性能の向上と再生可能エネルギーの推進に段階的に取り組み、2025年までに自社が受注する設計業務のうちZEBが占める割合を50%以上とすることを目標に掲げ、建築主・事業主と連携し、ZEB基準を満たす建築に積極的に取り組んでまいります。

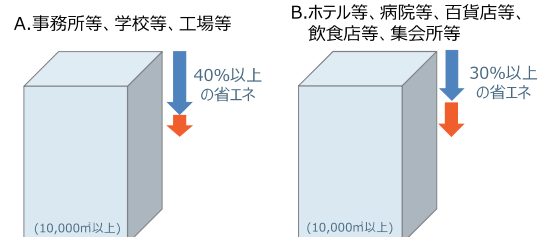
ZEBの定義について①

- ZEBの実現・普及に向けて、基準一次エネルギー消費量からの削減量に応じて、『ZEB』、**Nearly ZEB**、**ZEB Ready**としてZEBを分類・定義している。（ZEBロードマップ検討委員会とりまとめ 平成27年12月）
- また、延べ面積10,000㎡以上の建築物のZEB化の実現・普及に向けて、新たに**ZEB Oriented**をZEBの定義に追加した。（平成30年度 ZEBロードマップフォローアップ委員会 とりまとめ 平成31年3月）



ZEB Oriented

建物用途ごとに定められた省エネ率を達成（BELS五つ星相当）



更なる省エネに向けた措置として、いずれかの未評価技術を導入

- ・CO₂濃度による外気量制御
 - ・自然換気システム
 - ・空調ポンプ制御の高度化
 - ・空調ファン制御の高度化
 - ・冷却塔ファン・インバータ制御
 - ・照明のゾーニング制御
 - ・フリークーリングシステム
 - ・デシカント空調システム
 - ・クール・ヒートレッチシステム
 - ・ハイブリッド給湯システム等
 - ・地中熱利用の高度化
 - ・コージェネレーション設備の高度化
 - ・自然採光システム
 - ・超高効率変圧器
 - ・熱回収ヒートポンプ
- (2019年1月18日公表⁽⁸³⁾)

(※) 公益社団法人空気調和・衛生工学会において、省エネルギー効果が高いと見込まれ、公表されたものが対象。